



ふじみだい

ご入学 ご進級 おめでとうございます

校長 田村 憲一

雨です…。富士見台小学校へ引継ぎに来た日も雨でした。初出勤の4月1日も雨。このお便りを書いている2日も雨。ちなみに明日も雨予報…

今年度から、伝統ある富士見台小学校の校長になりました田村憲一と申します。「大人がワクワク 子どももワクワク 自分が一番ワクワク」をモットーに教員人生を歩んでまいりました。が、雨男です。小学校の時の遠足の写真は、黄色いレインコートを着て、青白い顔をして（バスに酔う子でした）、一番左の一番前にしゃがんで（背の小さな子でした）、無理に笑顔をつくる悲壮感漂うものばかり。だからこの3日間の雨は、「あなたらしくやればいいんだよ」「自分らしく楽しみなさい」という空からのエールだと思っています。

この子たちが、大人になった時にも

「わたしは幸福だなあ」って思えるようにすることがわたしたちの役目です

職員を前にして、わたしがはじめに語ったことです。子どもたちの人生はまだ始まったばかり。この1年間で、この6年間で、何とかしなきゃいけないことももちろんあります。そのことに丁寧に取り組みながらも、この子たちがずっとずっと先まで幸せな心持ちで過ごせるようにすることをだいにして、子どもたちと一緒に歩んでいきたいと思っています。

子どものころに「幸福だな」と感じる経験をたくさんしている人ほど、大人になってからの幸福度が高くなるといわれています。子どもの頃の素敵な思い出は、大人になっても、たとえ本人は忘れていたとしても、心のどこかに残っています。ですから、わたしたち子どもにかかわる大人がみんな、子どもの「やってみたい」が叶う瞬間、「楽しい」「うれしい」「おもしろい」と感じる瞬間をたくさんつくっていきましょう。

そのために校長ができることは、大人たちがいつも「ごきげん」でいられるようにすること。子どもがわたしたち大人を見て、「大人っていいな」「成長するって悪くないな」って思えるくらいにキラキラしたごきげんな笑顔でいられるよう、場を整えていきたいと思えます。主役は子どもであり、職員であり、保護者・地域の皆さんです（とはいえ、わたしも時々主役の座に躍り出たいとたくらんでいます）。

もうひとつ校長にできることは、「安心できる環境をつくる」ことです。子どもにとっての安心とは、「自分らしくいられること」です。「自分らしい」とは、必ずしも「よい姿」であるとは限りません。大きな声であいさつができなくても、たくさんの友達と元気に遊べなくても、それが今の自分らしさです。「うまいことできない自分も自分」です。「うまいことできない自分でもちゃんと尊厳が守られるんだ」と思えることで、子どもはきっと次の一歩を踏み出せます。子どもは、安心できる環境の中でこそ、「もっと素敵な自分になりたい」と願う存在なのですから。

保護者の皆様、地域の皆様、本年度も、ご支援を賜りますようお願いいたします。